

大人の工場見学

延沢1番地と吉田島500番地

まちづくり情報特派員 石塚 敦

私の幼い頃、2つの広大な工場が一面の田園地帯の真ん中に出現しました。これまでずっと気になっていましたが、中に入ったことはありませんでした。今回の取材では、日本の高度成長期から安定成長期に入った現在までの間における町や町民との関わりを探しに両工場を訪れました。

自治活動応援課 ☎84-0315

工場建設のきっかけ

両社とも豊富で良質な水、東京への交通の利便性、平坦で広大な敷地の確保が可能であったことなどを挙げられました。

社宅にたくさんの家族が暮らしていた記憶があります

社員の持家化が進み、現在は両社ともわずかな戸数のみ。以前は、町民体育大会があり、2社合同の明治山陽チームで参加していました。



昭和39年町民体育大会

1963年、昭和で言うと38年、アメリカではケネディ大統領の暗殺事件が起き、日本では国産連続30分テレビアニメ第1号「鉄腕アトム」が放映開始された頃、ここ開成町では町の中心部に道を隔てて2つの工場が操業を開始しました。

工場のこともっと知りたい！

両社とも工場内は大部分がオートメーション化され、最新の工作機械と長い年月働き続けている重厚な工作機械が次々に製品を作り出していました。

日本製紙クレシア
開成工場は日本で最初に誕生したティッシュ工場です。この「万能紙ハンカチ」はあつという間に生活必需品の一つになりました。現在は、スコッチイヤクリネックスのティッシュ、トイレットペーパー、キッチンタオル、ウェットティッシュ、介護用品などを生産しています。

明治ゴム化成
黄色いビール通箱を作っているイメージがあると思いますが、印刷機材から自動車部品などの工業用ゴム製品、合成樹脂や設備用ホースなども生産しています。東京スカイツリーのエレベーターに使われているローラーや種子島宇宙センターのロケット燃料給油ホースは当社の製品です。

どの様な製品を生産しているの？



創業当時の製品



各種昇降機用ローラー

(株)明治ゴム製造所(現明治ゴム化成、延沢1番地)と山陽スコット(株)(現日本製紙クレシア(株)、吉田島500番地)です。その年から遡る事8年前、酒田村と吉田島村が合併して開成町が生まれており、まさに町と歩みを共にしてきた企業と言えるでしょう。



航空写真